

彼女

甘々な



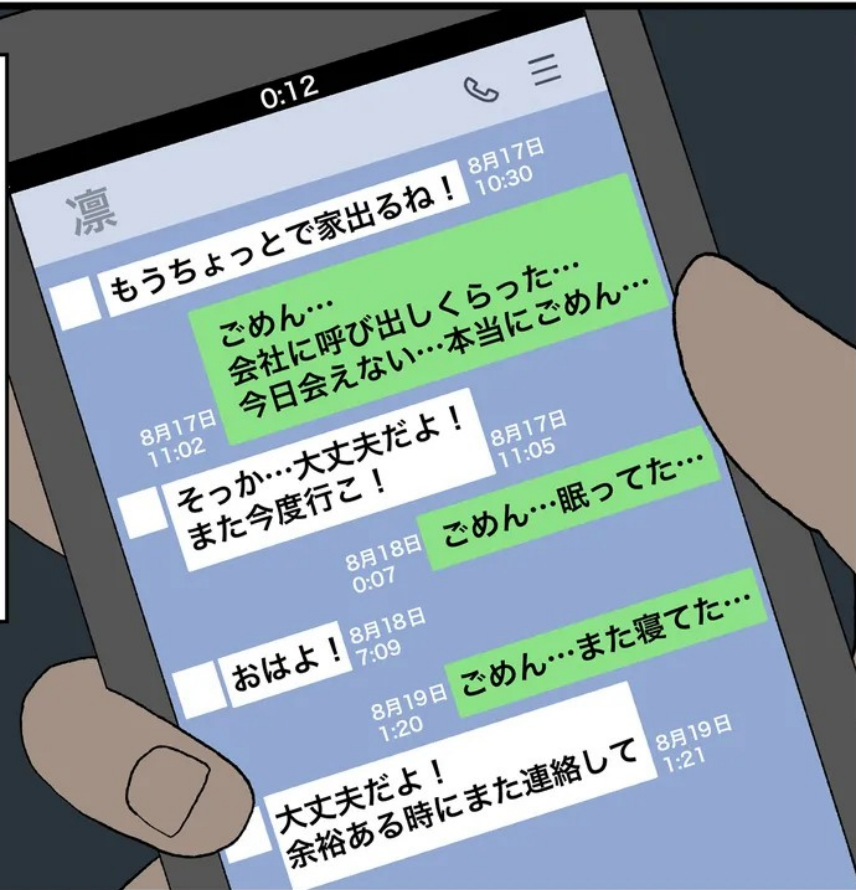
僕は零太
もうすぐで社会人2年目の
サラリーマンだ

今日も理不尽に
上司に怒られたな…

会社はいわゆるブラック
ほとんど休みもないのに
安月給で心も体も
ボロボロだ



仕事以外の事をする余裕がなく
高校の時から
付き合ってる彼女にも
3ヶ月ぐらい連絡してない…



これ…
完全に自然消滅
してるよな…

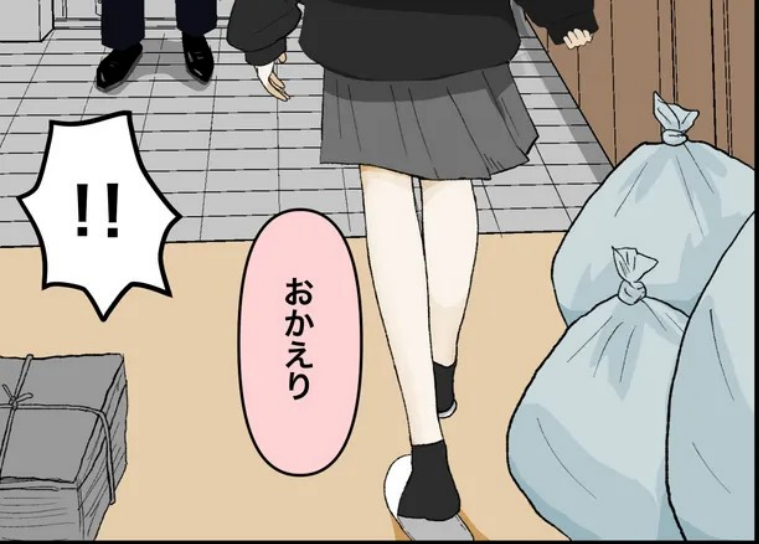
彼女のことは
大好きだった…だけど…
今は恋愛できる余裕はない…
それに…

すごくいい子だから
きっともう新しい
彼氏ができてると思う
今更連絡したって
迷惑だろう…

家に着いた…
ゴミで溢れかえってるから
入りたくないな…

でも…1秒でも
多く寝ないと…





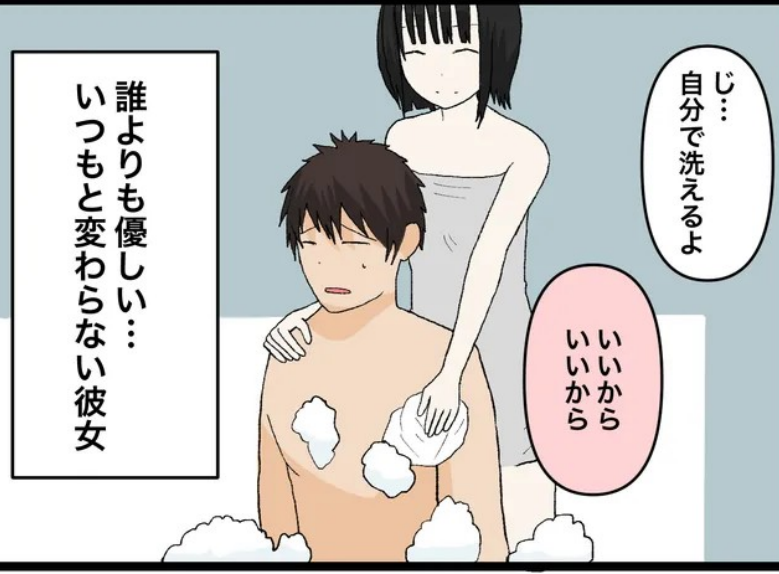
掃除したよー
やりがいあって
楽しかった

えっ？でも確か
風呂ってカビだらけ
のはず…



お湯沸かしたからね
どうせいつもシャワーで
済ませてるんでしょ？

ご飯の前に
お風呂入るっか
一緒に入る



誰よりも優しい…
いつもと変わらない彼女

じ…
自分で洗えるよ

いいから
いいから



私は足湯でいいや
肩まで入りなよ

凍ちゃん
入らないの？

そうだ…凛は
世話好きで
俺の部屋の掃除したり
ご飯作ってくれたりしてた…



…山のようにあった
洗濯物も全部片付いてる

いいから
いいから

自分でできるって

その優しさに
何度救われたことか…
だけど今回は…



だって…
今の俺は優しく
されるような
人間じゃないし…

すごっっ

…その優しさが…
少し心が痛かった…



おいで
腕枕してあげる

それって普通
男女逆じゃ…

いいから来なさい



あははっ
ちよっと零太くん？



って…なんで
前開いてるの!?!
もごツツ!

ふふっ
元気であるかなと思って

ぎゅっ



当たってるよ♡

ぐにっ

り…凜ちゃん…
うっ!!

り…凜ちゃん…
その…溜まってたから
もっ…

がちがちだね
一人でしなかったの？

すっする暇
なかった…

いいよ…このまま
出して？
後始末するから

…じゅじゅ

たよて…

たよて…

くにっ

くにっ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



どんなに
疲れていても
出るもんは出るんだな…

うづうづっ！
出るー！！

あはっ
出てる…

気持ちよさそ〜♡

それにしても
これは…

はあーはあー

すっきりした？
お風呂入ったばっかなのに
汚してごめんね

今着替えもってくるから
そのまま寝てて

赤ちゃんになった
気分だな…

パンツ変えるよ〜

はっはっ…

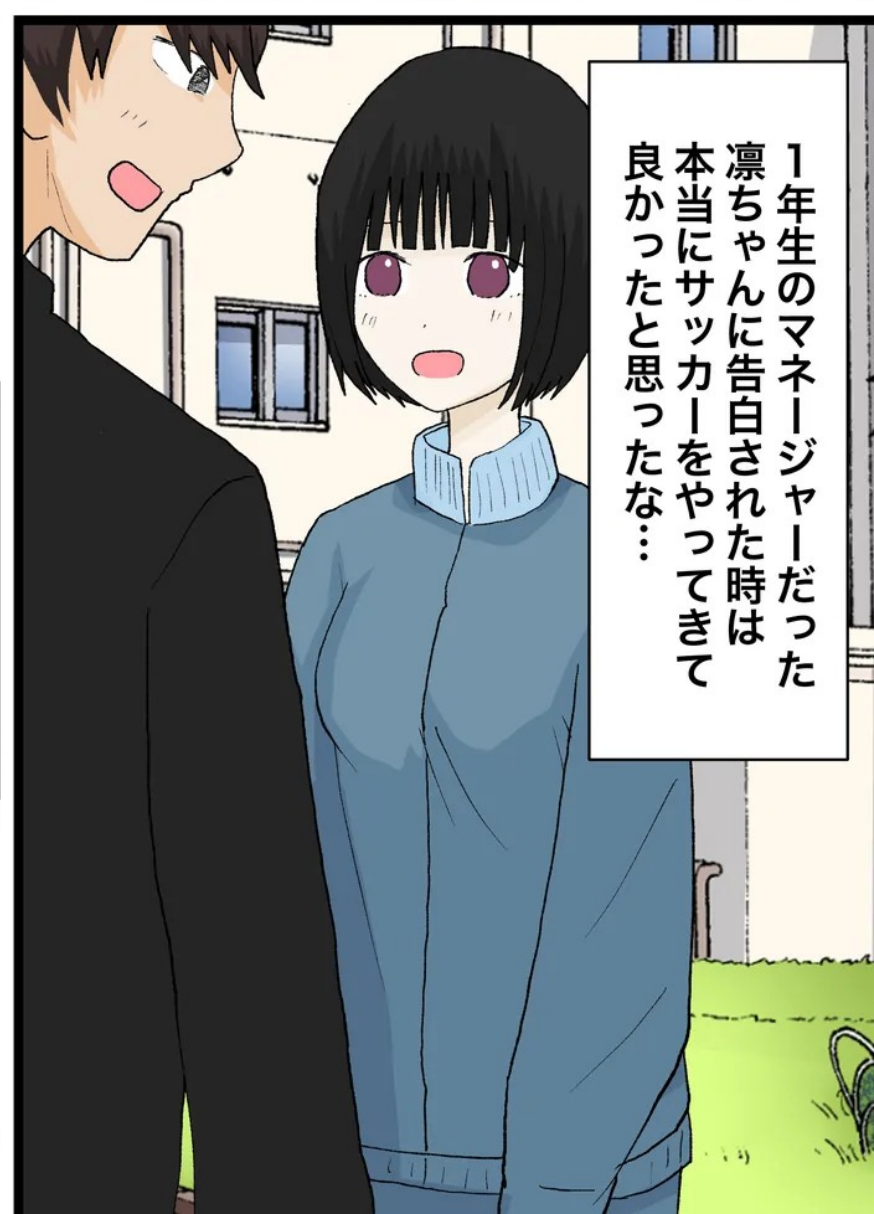
終わり




1年前の俺は
サッカー強豪校の
キャプテンで自信に
満ち溢れていた

小学の頃から
サッカー一筋で誰よりも
上手い自信があつたし
チームからの人望も
厚かつたと思う

だけど社会人に
なつて分かつたよ




1年生のマネージャーだった
凛ちゃんに告白された時は
本当にサッカーをやつてきて
良かったと思つたな…



俺は…

サッカー以外
何もない人間
だつて事を…



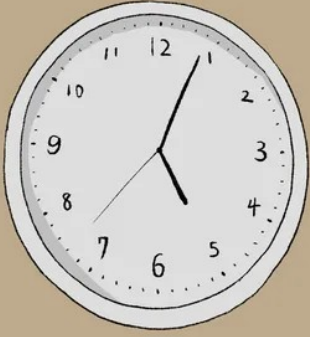
朝飯のにおい…

…はっ！

あれ以来ちよくちよく
凜ちゃん泊まりに
来るようになった

てっ手伝うよ...

いいから
テレビでも
見てなよ



現在時刻は5時：
あと1時間後には家を
出ないといけない！

サッカー部の
キャプテンならともかく

こんな自分の事で
精一杯のやつに
朝飯作ってなんの
意味がある？

凜ちゃん：
僕はもうあの頃の
サッカー一筋の俺じゃない

君は可愛いし
優しいからもっと
他にいい人いるよ...

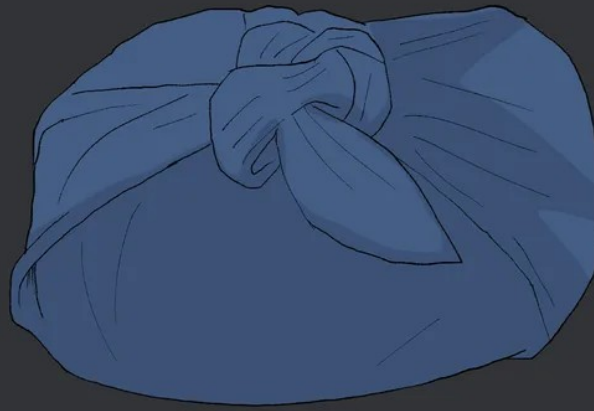
残り1年とちよっとの
高校生活...俺のせいで
無駄にしてほしくない

俺は君に：
幸せになって欲しいんだ！

ははっ...
何言ってるの？
はい弁当

私が好きでやってること
なんだから...
幸せがどうか
零太君が決めないで？

その弁当を
食べることはなかった



なんでかって？

休憩時間
俺はずっと土下座を
していたからだ

本当に
ダメだな
お前は！

お前が仕事
できないせい
でどれだけ皆が
迷惑かけてるか
わかるか？

次んたらしたら
土下座させたま
ま頭踏みつけるからな！

踏みつけられる…

いや…これは言い訳だ
弁当ぐらい食う時間は
いくらでもあった

凛ちゃんの弁当を食べる
資格なんて俺にはない…
自信がないんだ…

午前1時





んっ寝ちやってたな…
今何時だろ？



…1時か…
零太君まだかなあ…

少し寝てすっきりしたし
今日も仕事疲れの彼氏に
尽くすぞ〜



わっ!?



零太くん!?!
なんで隣にソファあるのに
床で寝てるの？

私邪魔だった?
膝枕してあげるから
おいで…

いいんだ…
俺には床で
充分だ…

床に這いつくばって
踏まれるのが
お似合いなんだよ…

…そんな事
ないよ

凜ちゃんだって
いやだろ？こんなやつ…
いつも優しくしてくれるけど
本当は心底呆れてるんだろ？

そうだよな…
サッカーやってない
俺なんて付き合う
価値ないよな？

今日も会社では一日中
怒られてたし…

せっかく作ってくれた弁当も
食べてない…

…

サッカーが
零太君の全てじゃないよ
それとも…

もう私の事
好きじゃない？

いや…俺は…その
凜ちゃんの事は
好きだけど

凜ちゃんに
無理させたくなくて…

…私はどんな零太君も
受け入れるよ

…！





零太君を今
励まして…抱きしめても

逆に無理をさせて
傷つけてしまう

でもね…私は
零太君を元氣付ける方法
手を取るように分かるよ

自尊心保たないと
やっていけないのなら

逆に限界まで情けない
姿にしてあげる

愛情込めて
いじめてあげる

靴下脱がせて？
手使わないで

…？
…！？

はやくして

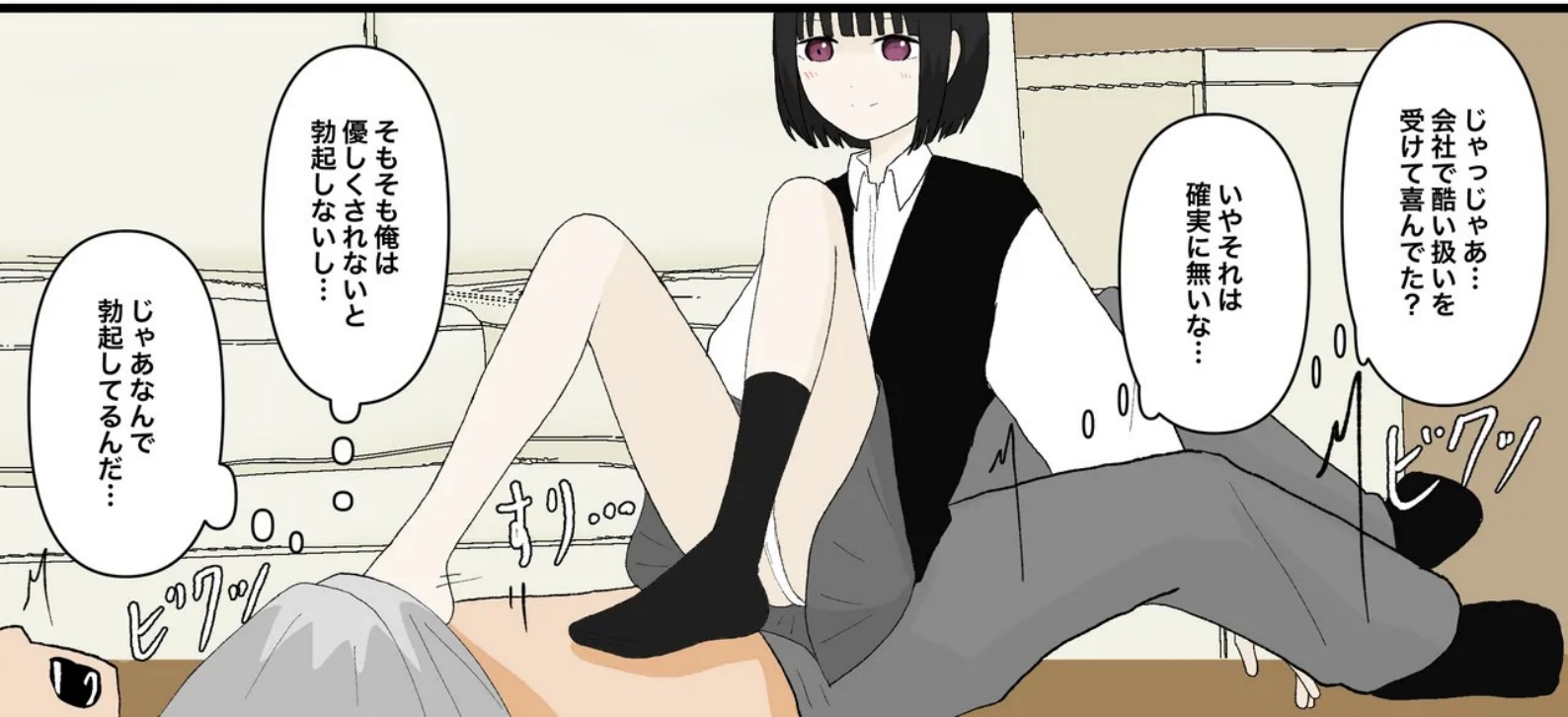


り...凍ちゃ...



そうなのか…
俺はいじめられて
喜ぶマゾだったのか!?

やっぱり
いじめられて喜んでるね?

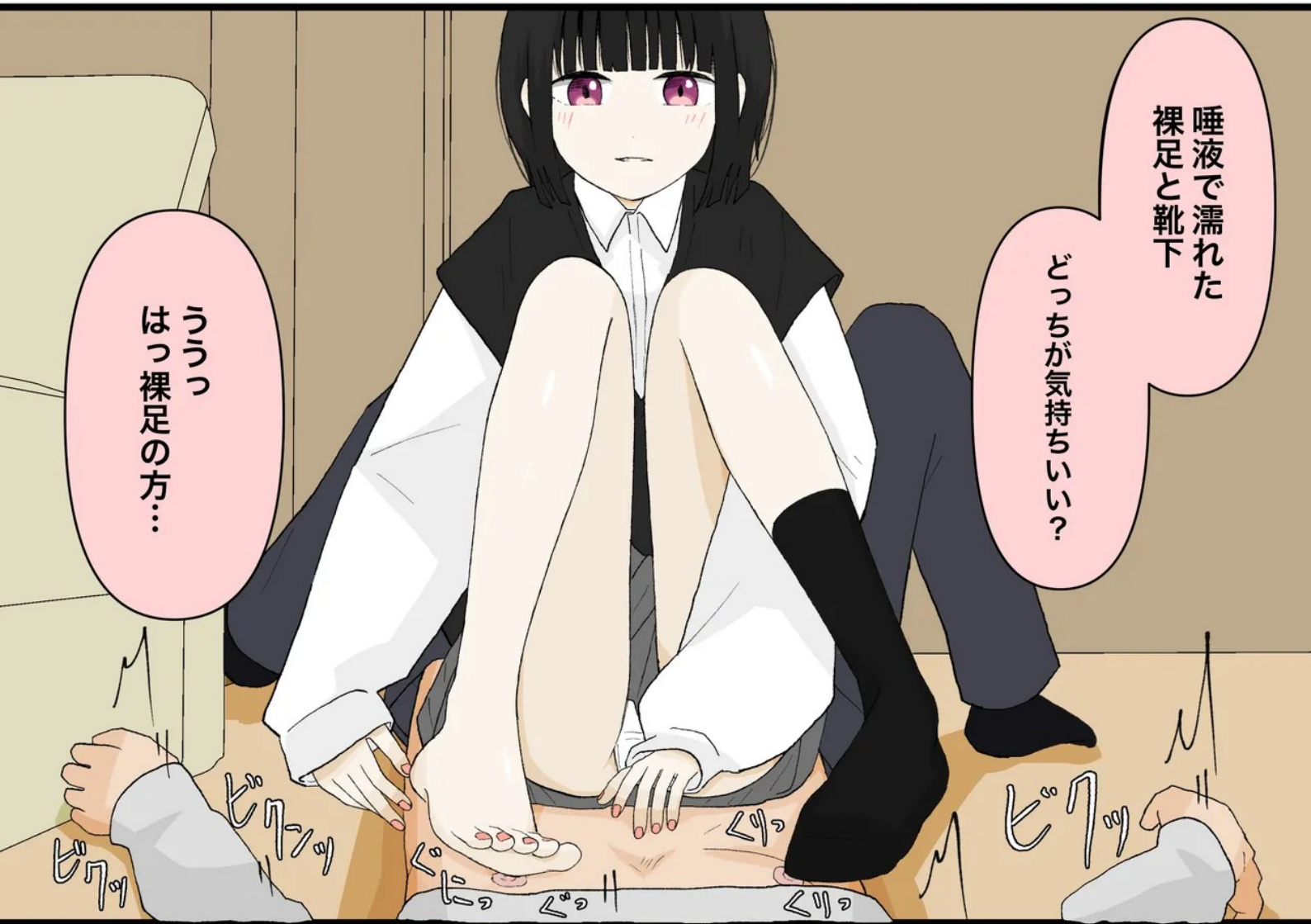


じゃっじゃあ…
会社で酷い扱いを
受けて喜んでた?

いやそれは
確実に無いな…

そもそも俺は
優しくされない
と勃起しないし…

じゃあなんで
勃起してるんだ…



唾液で濡れた
裸足と靴下

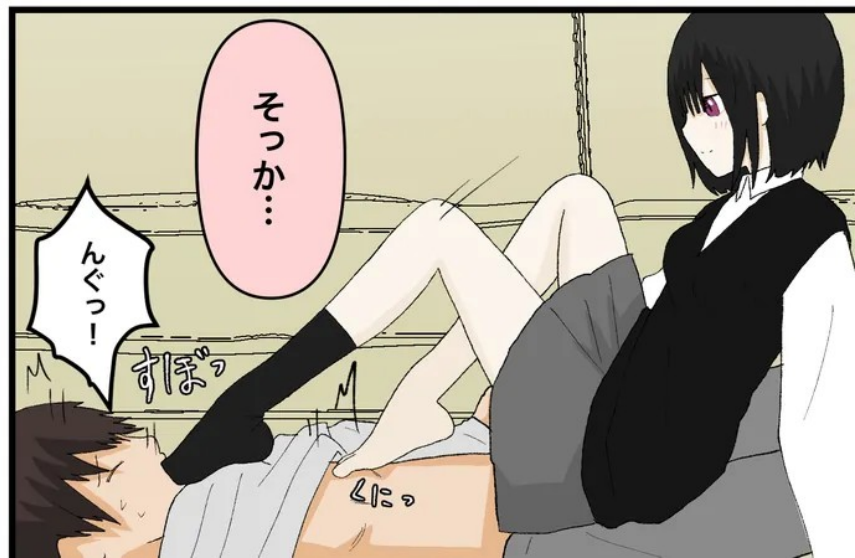
どっちが気持ちいい？

ううっ
はっ裸足の方…



そ…そうだ…
分かった…

ひちが…



そっか…

んぐっ…

すぽっ

客観的に見たら
イジメにしか見えないこの
行為にも…

凛ちゃんの愛を
感じているんだ…

ぬぎっ…

あ…

凛ちゃんは
俺がどんな状態でも
最善の愛情の伝え方を
知り尽くしてる…

ダメだ…
俺はこの凛ちゃんの
愛無しじゃ生きていけない…

そろそろ
イこうね

はあ

あ…

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ふふっ足の裏で
イってる…
かわいい…

はあはあ…うっ！
…り…凛ちゃん…
俺…やっぱり…

なあに？
まだなんか言うならもう
私の足じゃないと
いけない体にしようか？



い…いや元々俺…
やっぱり俺凛ちゃん無しじゃ
生きていけなかった…
それに…はあはあ…
今気づいた…

…ふふっ
そっか…



!?!?
り…凛ちゃん?

はづっ!
ちよっ
なんで!?



ふふっだめ
お仕置きだよ

おっ
お仕置き!?!



凛ちゃん!
もうイったから!



「別れた方がいい」
って言われる方も
傷つくんだから

次言ったら
もっときつい
お仕置きだからね

あはっ♡
潮ふいた♡

ツツツツツ
ツツツツツ



し…
死ぬかと思った…

…びちやびちやだね
あー楽しかった



…!

…
♡



ごめんね…
いじわるしちゃって

はぁー
はぁー
いっいや…はあはあ…
俺の方こそ…ごめん…



…はやく
会社辞めてね

会社冷蔵庫並みに
寒いから大丈夫
だと思っ…

えっでも
大丈夫かな？

そっだ…弁当
一緒に
食べようよ…

終わり

今日も相変わらず
会社では理不尽に怒られた
……だけ……

今日も
使えないな！

土下座しろ！

うるせえぞクソ老害
その小せえ脳じや
理解できてえだるうが
オメーが無能だから
社員に負担が行くんだよ

それに俺が頭下げるのは
もう彼女だけって決めたんだよ
今度土下座しろとか言ったら
弁当箱の角で頭蓋骨砕き割るぞ
ゴルアツツツツ！！

気がつけば怒鳴っていた

なんなんて
態度だ！
……うっ

私が無能だと
……くっ

私はもう
帰る……

お前なんか……
クビにしてやるっ！
ぐすっ

怒鳴って分かったことは……
いつも俺に暴言を吐いてた
上司は本当に小さな人間で

自分が社内
では大きな
存在だったってこと

よく言った！
さすが零太君！

えっ？

スカッとしたり
部長涙目だったね

大丈夫
零太君一番仕事
できるからクビになんて
ならないよ！

ふふっ…どうしたの？
珍しいじゃん
そっちから
襲ってくるなんて♡

はあはあ…
…ちよつとだけ
自信がついてさ…





はあはあ
好きだ…

かわいいよ
凛…

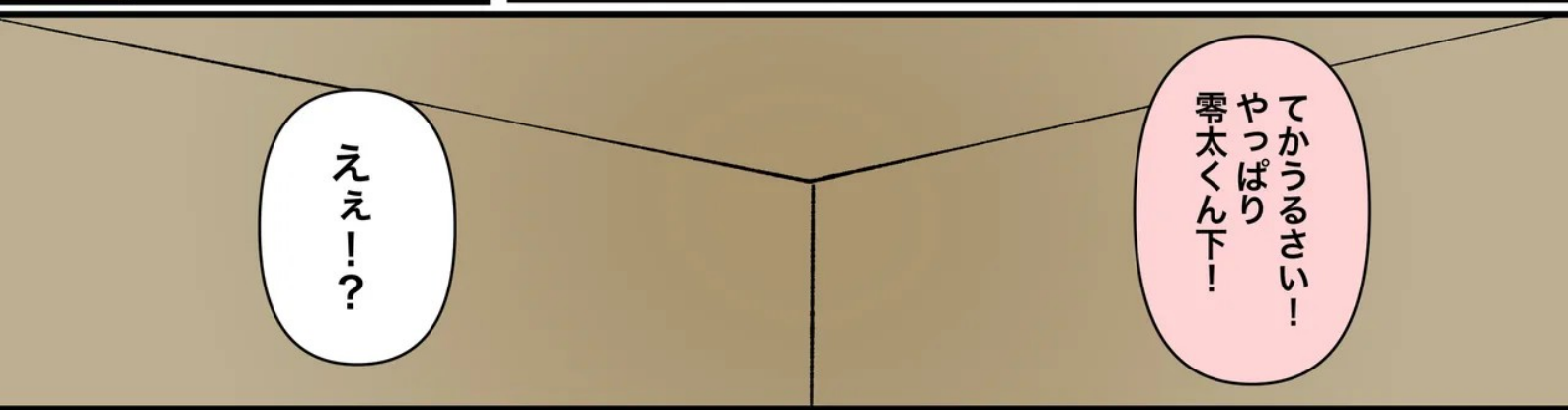
なんか…
調子狂う…



はあはあ…
愛してるよ
凛…

ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ

…んっ



てかうるさい！
やっぱり
零太くん下！

ええ！？



いっつも
私の足でイッてるくせに
生意気だよ…

あっ

はあ…

すっ…すぐにイッちゃ
ダメだよ

ひくっ
いやでも…
もう…気持ち良すぎる…

私全然なんだけど？
気持ちよくしてよ

ビクビク
うっうっうっ！
我慢我慢！

はちん

びくっ

はちん

ぎし



あはっ
なんか…気持ちよくなって
きたかも…

びびびび…
あつやばいッ…

ビクッ
ビクッ
ビクッ

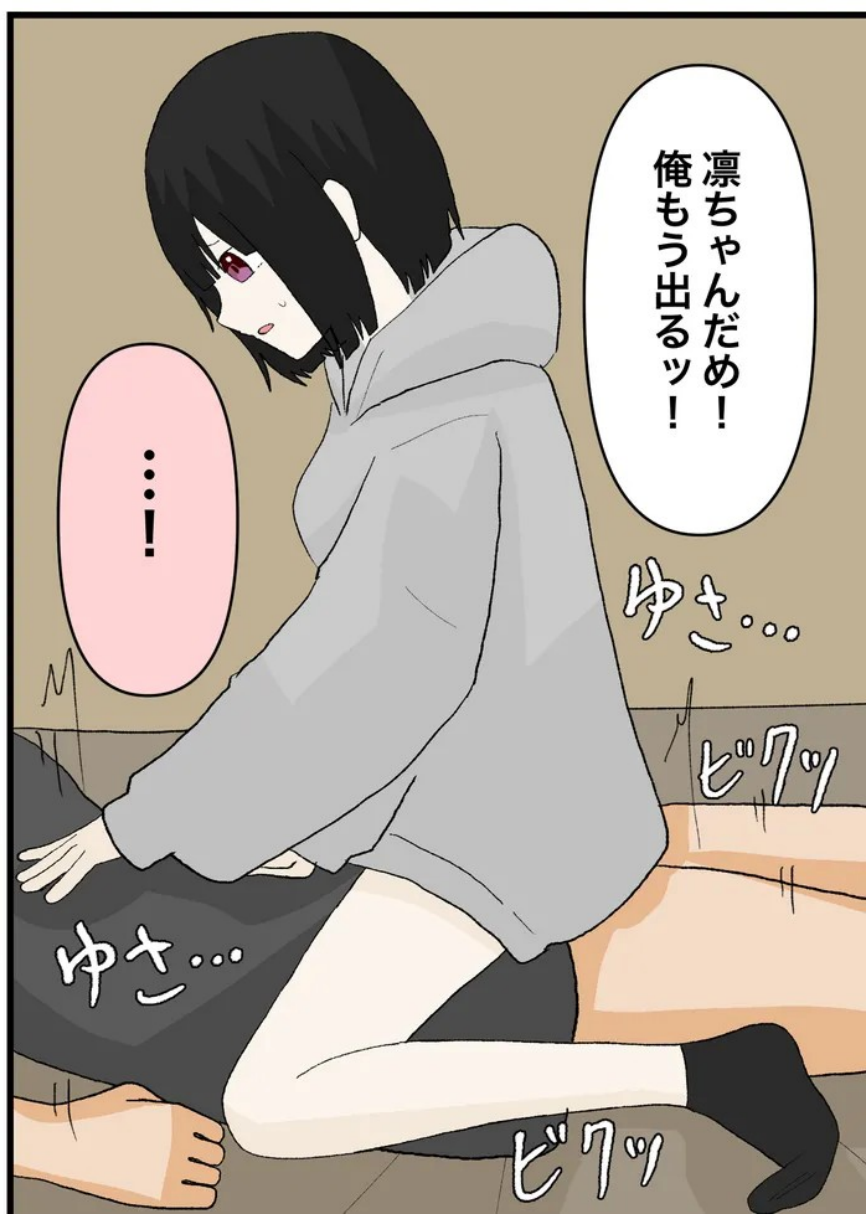
ビクッ



だつダメ…

ずる…

!?



凜ちゃんだめ!
俺もう出るッ!

ゆさ…

…!

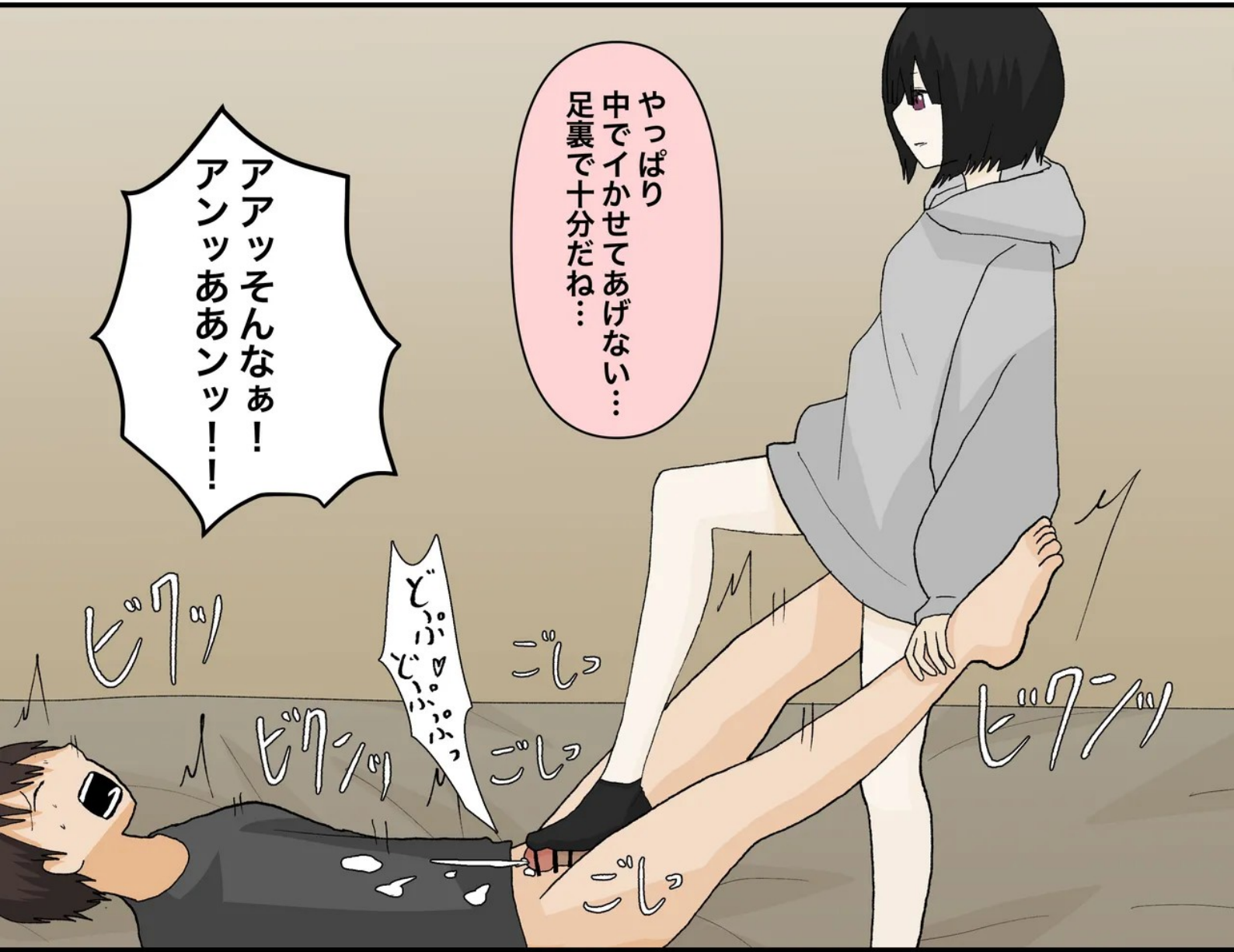
ゆさ…

ビクッ

ビクッ



ああうツツ！
ちよおツツツ！



やっぱり
中でイかせてあげない…
足裏で十分だね…

アアツそんなあ！
アンツああンツ！！

このあと照れ隠しに
5回連続でイかせた

凛ちゃんツ！もう
無理だつてばあ！
だーめっ
まだまだ♡

はあ…
私も素直に
なれないなあ…

ちよつとだめっ！
あああつ！
あああああ！
イグツツ！
イグううう！

終わり

今日はなんか
部長が痴漢で捕まったとかで
急に会社が休みになった

いざ休みになると
何すればいいか
分かんないんだよな…

家事は全部
凛ちゃんが
やってくれたし…

凛ちゃん…はやく
帰ってこないかな…

…あれは
凛ちゃん
の
上着か…

凛ちゃん…

うわあっ！俺は
なんて変態的なことを…
こんなの凛ちゃんに
見られたらドン引き…

…されないだろうな…

しょうがないなあ
いっぱい香りつけといたよ！



靴下…
すーはー
すーはー



凛ちゃんの
お泊まりセット…
何かないかな…



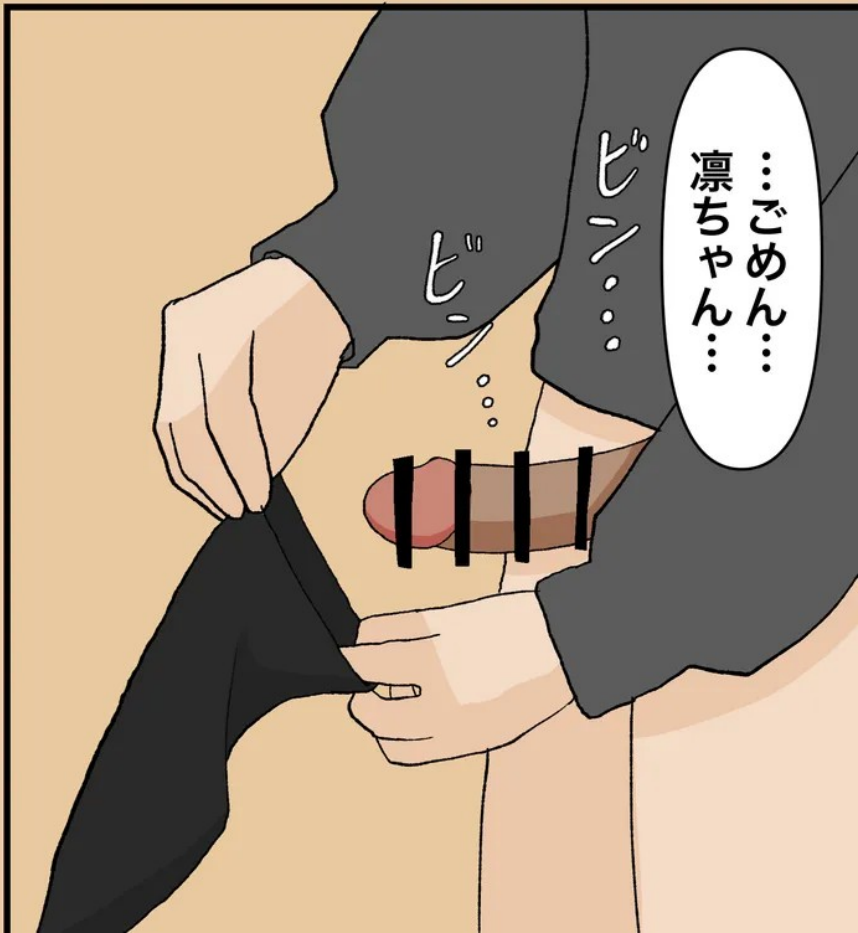
もう
我慢できない…

ダメだ…

ぬぎ…



おっふっ！



…ごめん…
凛ちゃん…

